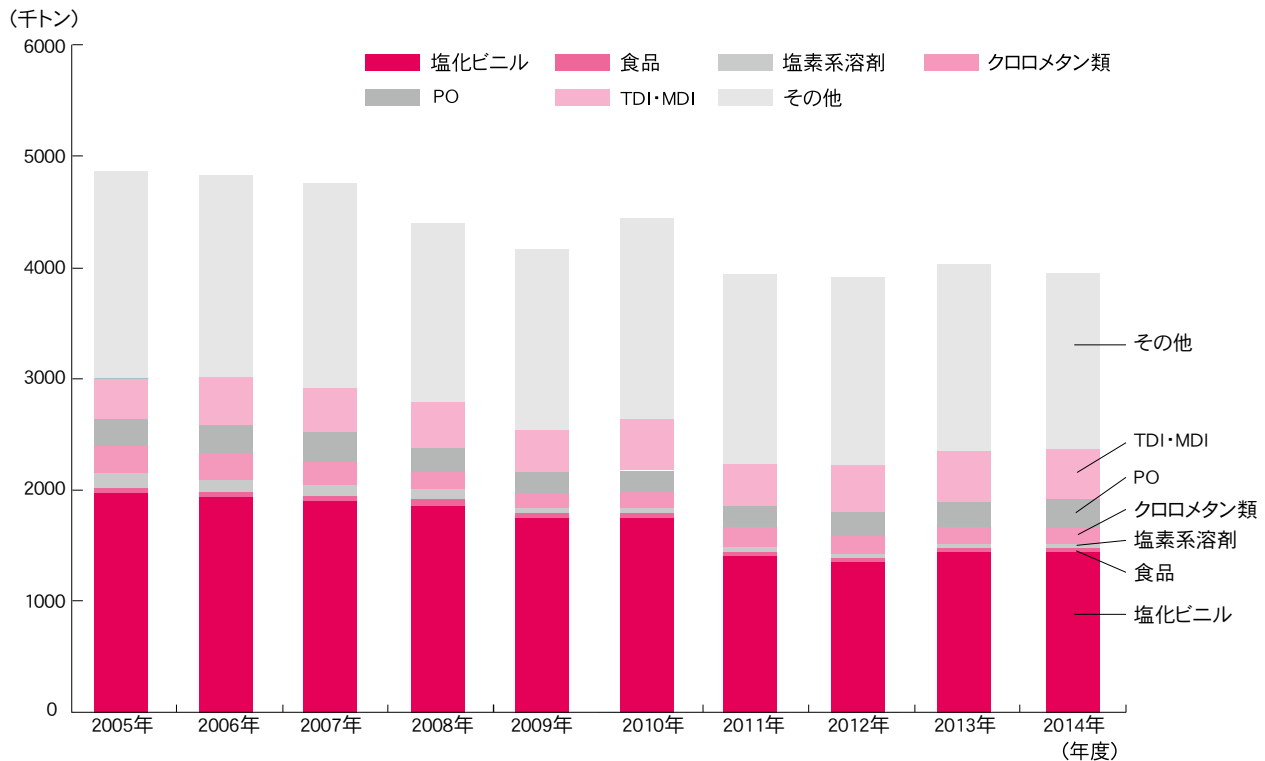


塩素の需要推移



(単位：トン)

用途部門	年度	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
塩化ビニル		1,962	1,938	1,897	1,818	1,732	1,713	1,400	1,346	1,433	1,434
食品		48	51	47	46	42	38	35	38	36	29
塩素系溶剤		133	106	98	95	56	61	58	48	51	47
クロロメタン類		235	223	238	188	136	157	183	161	155	172
PO		246	236	249	222	218	211	198	197	224	226
TDI・MDI		363	388	387	344	352	418	356	419	444	446
その他		1,860	1,871	1,860	1,629	1,667	1,766	1,733	1,715	1,674	1,601
合計		4,847	4,813	4,776	4,342	4,203	4,364	3,964	3,924	4,017	3,955

注1) 副生塩酸、輸入塩素誘導品を含む。

注2) 2001(平成13)年度以降は、化学工業統計の一部調査項目の廃止(2002(平成14)年1月実施)により紙・パルプ、無機薬品、染料・中間物向け塩素量の把握ができなくなり、その他に移行。

注3) PO: プロピレンオキサイド、TDI: トリレンジイソシアネート、MDI: ジフェニルメタンジイソシアネート

この塩素需要は8頁の塩素発生量に、注1の通り、副生塩酸と輸入塩素を加えた塩素の総需要量を需要項目別にまとめたものです。

塩素需要の特徴的なことは、塩化ビニル向けが全体の約36%を占めていることです。さらに、主にウレタン樹脂原料となる、PO、TDI・MDI向けにも約17%が使用されており、これらの製品向けで全需要の半分以上を占めています。

これまで、塩化ビニル向け需要が全需要の40%程度ありましたが、ここ数年では、その割合が低下して35%程度となっています。

また、一時減少していたTDI・MDI向けの需要は近年増加傾向にありますが、環境規制等の問題などから塩素系溶剤、クロロメタン類向け需要は低い水準で推移しています。